

事務事業名 ふれあいのまちづくり事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1044

施策：	15	地域福祉の推進	財務コード	01030101-10-00
基本事業：	01	地域で支えあい、助け合う仕組みづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	身近な近所づきあいができている市民の割合 見守り活動により見守られている市民数 災害時要援護者が近くにいることを知っている市民の割合		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成18年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
筑紫野市社会福祉協議会		市内全域での地域福祉を総合的に推進するため筑紫野市社会福祉協議会へ補助を行う。 地域福祉活動推進事業として以下の事業を実施。 福祉委員事業補助金 民生委員児童委員連合会事務局事業補助金				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		福祉委員とは、住民の最も身近な行政区などの小地域で、民生委員・区長などと協力して地域住民の中心となり、福祉活動を実践するボランティアであり、福祉委員事業補助は、福祉委員事業推進のため、ボランティア保険、研修会講師謝金、研修会費用弁償等の一部を補助している。 民生委員児童委員連合会事務局事業補助金は、民生委員児童委員連合会の円滑な活動のため、運営に要する経費の一部を補助している。				
筑紫野市全域で、相談、見守り、介護予防、子育て、いじめや虐待の早期発見、災害時要援護者の支援、差別や偏見の除去、等々の地域福祉に関する支え合いを目指す。						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
福祉委員数	人	190	190	190	190			190
研修等参加率	%	72.6	71.5	75	75			75

5. コスト									
事業費	計	千円	2,357	2,237	2,237	2,333			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	2,357	2,237	2,237	2,333				
正職員人工数	人工	0.06	0.06	0.06					
正職員人件費	千円	480	485	484					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	2,837	2,722	2,721	2,333				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	少子高齢化や核家庭など地域などでのつながりが薄くなっている問題を解決するためにもこの事業を通して、地域の支え合いを進める必要がある。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	・福祉委員の高齢化や担い手が不足している。					
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
平成28年度以降も安易な補助金査定とはせず、真に必要な事業のみ補助する。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
各事業毎に業務精査を行い、平成27年度から本補助事業へと移行した。									